

男性子育て推進事業

●自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

和歌山県においては、社会生活基本調査（総務省）において、男性の1日の育児時間が平成23年は23分で全国最下位、平成28年は34分で36位という結果が出ており、改善がみられるものの依然低い水準にある。男性の家事・育児時間が少ないと第2子以降の出生割合が低くなる。調査結果より、本市では少子化対策として男性の家事・育児参画を推進する事業に取り組んでいる。平成30年度に行った和歌山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査では、仕事と子育ての両立で大変だと思う事柄について、「職場での理解や協力が得られない」及び「配偶者の協力が得られない」「家族や親族の理解が得られない」との回答が比較的多いこともあるように、仕事と育児・家事の両立のために引き続き男性の子育てを推進する取組が必要であると考えます。

また、今般のコロナ禍において、人と人との接触が制限されることが多くなった中、育児の孤立化を防ぐためにも、育児・家事を社会とともに行うことをこれまで以上に必要とされ、みんなで協力して家事・育児・仕事を行うためには、家庭における取組と職場・企業への取組の両方が必要と考えます。

本市では、平成29年度には「第5次和歌山市長期総合計画」が策定され、将来都市像を「きらり 輝く 元気和歌山市」と定め、実現のため4つの分野目標を示している。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」を実現するための施策として、安心して子供を生み育てることのできる環境の整備に取り組んでいる。「男性子育て推進事業」は、その取組として重要な事業である。

また、令和2年3月に「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来に向かって活力ある和歌山市を維持するため4つの基本目標を掲げている。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」の基本施策として、

1. 家庭や地域で取り組む子育て環境づくり
2. 子供が健やかに育つことのできる環境づくり
3. 保護・援助を必要とする子供への支援
4. 結婚から子育てにつなげる社会づくり

「男性子育て推進事業」について、上記基本施策の4に位置付けられている。

●個別事業の内容

<個別事業における現状と課題>

本市では男性の子育て推進として、以前のイクメン・イクボス推進から家庭において夫婦のパートナーシップについて考えお互い協力して家事・育児・仕事を行う取組を現在は行っており、主に子育て中の父親・母親・夫婦を対象としてワークショップを行っている。オン

ライン開催や土曜日開催を実施したが、定員には満たない参加者であった。

<課題への対応>

- ・広報・・・委託業者からの広報に加え、引き続き本市公式 SNS 等を活用して発信する
- ・時間・・・オンライン開催については、時間が長いとの意見があったため、時間配分を考える。また大人数になると意見交換が難しくなるため、1回あたりの参加者を少人数にする
- ・内容・・・子どもも含めた家族一緒に参加するワークショップでは、どちらかというに参加が少ない父親も参加しやすいと考える。家族一緒に参加しても楽しい内容にし、その中で家族みんなで協力して家事・育児・仕事に取り組めることを考えることができる内容とする。
- ・日程・・・すべてのイベントについて土日祝に開始できるように努める。

<取組内容>

◆家庭向け男性子育て推進の取組

夫婦・パートナーがお互いの立場について理解を深め、チームとして子育て・家事・仕事に挑む関係を築き、仕事と子育ての両立をかなえ、また家事・育児の孤立化を防ぐことを目的としたワークショップなどの取組を3種類行う。

○内容

基本は夫婦・パートナー向けであるが、パートナーなしでも参加しやすいような内容も取り入れる。お互いの考えや立場について意見交換ができるきっかけを作ることを目的とし、夫婦・パートナーがチームとして家事・育児に取り組むことができる関係性が築くことのできる内容とする。

ただ単に家事・育児を夫婦お互いするだけでなく、コミュニケーションをとりながら家事・育児を一緒に行うため「夫婦で子育て・みんなで子育て」をテーマにしたワークショップを次に掲げるような形で3種類行う。

①アンケート型ワークショップ・・・お互いの家事・育児についての考え方を知るきっかけとなるアンケートを夫婦で取り組んでもらい、パートナーシップについて考え夫婦で話し合うきっかけを与える。また、そのアンケートでの気づきから、今後夫婦で家事・育児の取り組み方を学べるようにイベント型・オンライン型ワークショップを開催する。

②イベント型ワークショップ・・・家族（夫婦・子供）が一緒に参加し、子供の遊べる催しを折り込みながら夫婦での家事・育児についての考え方を参加者同士で意見交換し、夫婦のパートナーシップについて学ぶ。

③オンライン型ワークショップ・・・イベント型と同じで夫婦で家事・育児の取り組み方を学ぶワークショップをオンラインで行う。

（公募型プロポーザルを行い、予算の範囲内で目的を達成する効果的な方法の提案を募集する。）

○イベント参加人数

3種類のワークショップ・イベントにおいて、1種類ごとにつき、25名（合計75名）程度の参加者を募る。

○主な対象者

子育て中の夫婦、共働き夫婦、母親、父親、これから結婚を考えられている方
子どもも含めた家族

○広報

本市市報やホームページのほか、和歌山市 LINE 公式アカウント等の公式 SNS などの活用。
必要に応じてチラシを作成し、地域子育て支援拠点施設や子育てひろばでの周知を行う